



ふたば未来通信

SGH研究成果発表会

2月4日(火)にSGH研究成果発表会が行われました。5年前開校時に認定を受けた事業も今年度が最終年度です。認定から3年目、平成29年度12月には中間発表会が行われたのですが、その後の2年間で本校が大きく成長したことを感じる事が出来た発表会となりました。ここでは2つに的を絞って当日の様子をお伝えします。

①代表生徒発表

本校を代表し、2人の生徒がみらいシアターを舞台にこれまでの探究の成果を発表しました。始めに発表した鶴飼 夢姫さん(3年)は「双葉郡のイメチェン」と題し、震災後のイメージを新たに塗り替える(イメージ・チェンジ)ための探究を発表しました。既存の商品開発を分析し、木戸川でとれる鮭を使った新しい商品開発を通じた実践でした。昨秋以降、ふくしま社会活動コンテストなどで発表し、福島県総合学科高等学校生徒研究発表会では口頭部門で最優秀賞を受賞しました。発表のたびに新たな実践報告が加えられていて、成長著しい内容でした。



もう一方は渡邊 美友さん(3年)です。「地域交換留学」と題した探究について発表しました。全国の高校生と双葉郡の高校生を繋ぎ、地域課題や未来について交換留学形式で学ぶプログラムを作り、実践しました。渡邊さん自身の気持ちの変化を発表の中で言語化したことも素晴らしかったのですが、ツアー参加



○未来学園中・高等学校 3月予定行事紹介

No.	月 日	行事内容	開催場所
1	3月16日(月)	前期・連携型選抜合格発表	ふたば未来学園
2	3月19日(木)	後期終業式	ふたば未来学園
3	3月27日(金)	離任式・合格者オリエンテーション	ふたば未来学園

ふたば未来学園中学校・高等学校

者にもワークショップを通して課題を“自分事”に変換することを実感してもらおうと実践してきたことはこれまでの学習旅行にはない可能性を感じました。2人とも3月には卒業ですが、今後も成長を続けて欲しいと思いました。

②第3分科会 総合的な探究の時間での協働 ～地域協働・外部連携～

午前中に行われた学校概要説明・SGH研究成果説明では丹野校長から本校の概要とこれまでの取り組みを説明しました。午後には開催した分科会への期待を高める話となりました。同時に南郷副校長は、はじめの挨拶で「参観されたみなさんと“対話”がしたい」と述べ、参加者のみなさんと対話し、新たなステージに進むための会であることがより明らかになりました。



①で紹介した代表生徒の発表後に6つに分かれての分科会が行われました。特に、第3分科会では本校の小椋 ももこ先生、カタリバの長谷川 勇紀さん、本田 詩織さん、横山 和毅さんから報告がありました。生徒一人ひとりが持続可能な社会の担い手として社会の成長を生み出すためには、開かれた学校づくりが期待されています。特に本校はカタリバさんだけでなく地元広野町はもちろん、双葉郡8町村など

様々な外部リソースの方々によりよい協働を行ってきました。今後は本校に限らず他の地域・学校でも更に求められる内容なので、よりよい連携などについて議論されました。いずれの分科会も時間を押してまで質疑応答を行いました。そうしたことを通して、まだスタートラインに立ったに過ぎないことを実感しました。



アカデミー通信



新シーズンを迎えて

JFAアカデミー福島 10期生 久保 龍生

2月1日から新シーズンがスタートしました。今年のユースチームは「覚悟」というスローガンを立てて始動しました。練習からチーム全員が声を出し、良い雰囲気の中で練習が行われています。4月に始まる東海プリンスリーグ開幕に向け、これから海外遠征やスーパーリーグ、練習試合などを通してチーム全体が今以上に成長できるようにこの時間をうまく使っていきたいです。



○アカデミー福島 3月予定行事紹介

No.	月 日	行事内容	開催場所
1	3月 1日(日)	ふたば未来学園 高校卒業式	ふたば未来学園
2	3月 21日(土)	J-village CUP	J-ヴィレッジ

広野中学校

なすびさんが来校!



↑広野中学校剣道部を紹介するなすびさん

2月3日(月)、KFB福島放送の番組「福島まるごとライブ『ヨジデス』」で本校の剣道部が紹介されることになり、タレントのなすびさんが取材に訪れました。

次年度生徒会役員選挙!



↑立会演説会の様子

2月6日(木)、次年度の前期生徒会役員選挙立会演説会が行われました。

4人の立候補者たちは、広野中学校をさらに発展させるための施策について考え、堂々と演説しました。演説会終了後、投票が行われ、生徒たちは真剣な表情で一票を投じていました。